

札幌開発建設部では、石狩川下流域外減災対策協議会において、防災教育の実施や防災意識の啓発を主な取組項目に挙げており、石狩市の教育委員会及び小学校教員、札幌開発建設部等で構成する「石狩市防災教育プロジェクトチーム会議」との連携により、先生が活用する指導計画や板書計画など、授業を支援するための資料作成のサポートしています。

平成30年2月1日に社会資本整備と学校教育をテーマとした地域と教育を元気にするフォーラムに参加し、札幌開発建設部が取り組んでいる防災教育の事例についてポスターセッションを行いました。

ポスターセッションでは、学校教育関係者の方などから「大変参考になった。機会があれば、是非、我が小学校でもサポートしていただきたい」などの声がありました。

指導計画(案)等の理科、社会の授業で活用できる防災・河川教育資料集については、北海道開発局HPに掲載されております。

<http://www.hkd.mlit.go.jp/ky/jg/bousai/splaat000000a6fw.html>



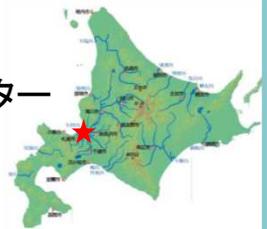
授業後のプロジェクトチーム会議



ポスターセッションの様子

## 地域と教育を元気にするフォーラム 概要

実施日：平成30年2月1日(木)  
 名称：「社会の基盤と学校教育」  
 主催：一般社団法人 北海道開発技術センター  
 実施場所：札幌市内  
 参加機関：官公庁、建設業、学校教育関係者  
 参加人数：約100名  
 実施内容：基調講演「小学校で社会資本整備をどう教えるか」  
 ポスターセッション など



## 指導計画(案) 事例

【1時間目 協力して自然災害を防ぐ①】

流れ	発問計画(案) (T:先生, C:児童)	指導上のポイント	教材(案)
導入(計7分)	T:みなさんは56水害を知っていますか? (C:知っている。知らない。) T:「水害」とは、水によって起こされる災害のことを指します。 T:昔、石狩市では、56水害という大きな水害がありました。水害が起きると私たちの住むまちがどうなるのかを、映像で見てください。 ※映像A-10を見せる。	昭和56年の台風及び平成28年に発生した台風による被害の映像から、自分の地域で水害が起こる可能性があることに気づかせる。	S56水害、H28台風の被害の様子(映像) 
	T:映像を見て、どんなことがわかりましたか? (C:まちが水没していた。/56水害で、ケガをした人や亡くなった人もいたみたい。/多くの人避難していたよ。/平成28年にも大きな台風が来て、まちが水に浸かっていた。/水害が起きると恐ろしい。等)		
	T:今日の授業では、水害が起こりそうな大雨が降り続いた時の「情報の集め方」と「避難時の行動」を考えましょう。 課題：水害に備えて、「情報の集め方」と「避難時の行動」を考えよう。		